

令和4年度第9回丸亀市eモニターアンケート集計結果

「防災について」

このアンケートは、今後の本市の防災施策を進めるうえで、皆さまの防災に関する意識などをお聞きし、今後の防災施策に反映させるため実施いたしました。

アンケート実施期間：令和5年2月14日～2月23日

対象者数：321人

回答者数：193人（回答率 60.1%）

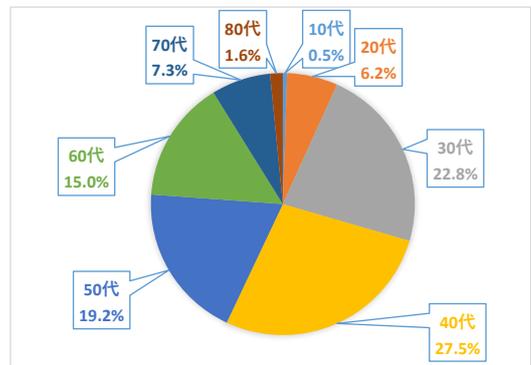
●回答者の性別

性別	人数(人)	割合(%)
男性	83	43.0
女性	110	57.0
その他	0	0.0
計	193	100.0



●回答者の年代

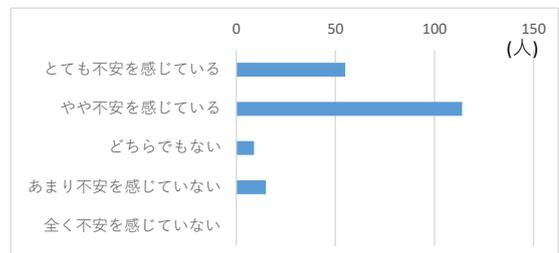
年代	人数(人)	割合(%)
10代	1	0.5
20代	12	6.2
30代	44	22.8
40代	53	27.5
50代	37	19.2
60代	29	15.0
70代	14	7.3
80代	3	1.6
計	193	100.0



【防災意識について】

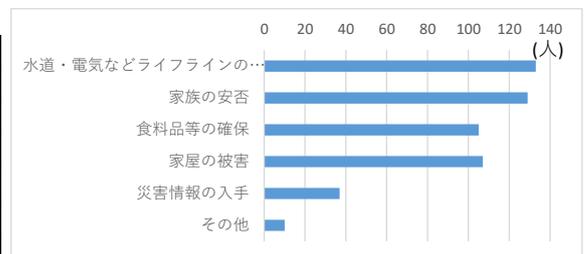
質問1 あなたは、自然災害に対して不安を感じていますか？最も近いものを1つ選んでください。

回答	人数(人)	割合(%)
とても不安を感じている	55	28.5
やや不安を感じている	114	59.1
どちらでもない	9	4.7
あまり不安を感じていない	15	7.8
全く不安を感じていない	0	0.0



質問2 (質問1で「とても不安を感じている」、「やや不安を感じている」を選択された方へ) 具体的にどのようなことが不安だと感じていますか？(複数回答可)

回答	人数(人)	割合(%)
水道・電気などライフラインの確保	133	25.5
家族の安否	129	24.8
食料品等の確保	105	20.2
家屋の被害	107	20.5
災害情報の入手	37	7.1
その他	10	1.9

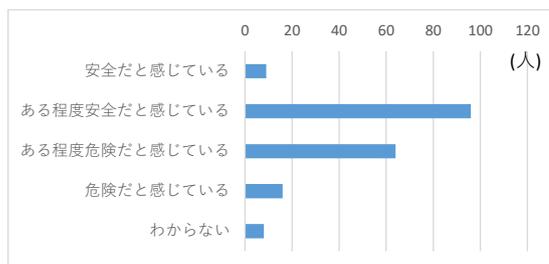


「その他」の場合、具体的にご記入ください。

避難所対策
南海トラフ地震発生時には高知県から多くの避難民が丸亀市にも流入してくることが予想されますがその対応は考慮されているのか?(避難所、食料等)また若者が仕事等で不在の平日昼間に災害が発生した時の近隣の高齢者の避難。丸亀市だけの防災でなく、四国全体での丸亀市の役割等も考えておく必要があると思います。
丸亀市では川西町が自治会加入率もよく、防災訓練も多々行っているのを知っています。私が住んでいるところは、10年くらい前にできた新興住宅地で自治会がなく、そういった活動が身近に行われていないのでとても不安です。
飼犬の事。
市役所などに防災に対して詳しい人が見当たらないので、市役所として期待される行動ができるか否か疑問である。
災害に便乗した犯罪、窃盗など
避難場所の丸亀市城南小学校、城南コミュニティーセンターは、田村池の土手が決壊したら浸水するのではないかと心配です。
海に近い為、高潮や津波などによる生命の危機。車や家財。また瀬戸大橋が通行不能になった場合の災害復旧の遅延。
その災害がどのくらいの大きさなのか、どのくらいの津波なのかなど

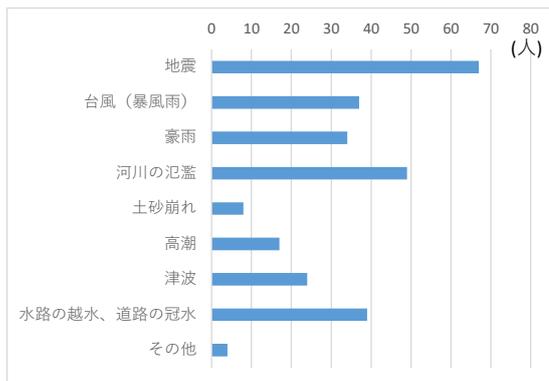
質問3 あなたの住んでいる地域が災害に対し安全だと感じていますか?それとも危険だと感じていますか?最も近いものを1つ選んでください。

回答	人数(人)	割合(%)
安全だと感じている	9	4.7
ある程度安全だと感じている	96	49.7
ある程度危険だと感じている	64	33.2
危険だと感じている	16	8.3
わからない	8	4.1



質問4 (質問3で「ある程度危険だと感じている」、「危険だと感じている」を選択された方へ) どのような災害に対して危険だと感じていますか? (複数回答可)

回答	人数(人)	割合(%)
地震	67	24.0
台風(暴風雨)	37	13.3
豪雨	34	12.2
河川の氾濫	49	17.6
土砂崩れ	8	2.9
高潮	17	6.1
津波	24	8.6
水路の越水、道路の冠水	39	14.0
その他	4	1.4

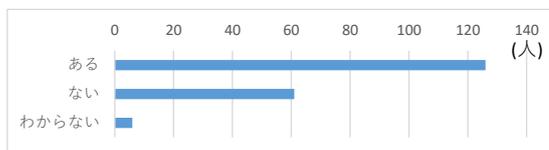


「その他」の場合、具体的にご記入ください。

ため池の氾濫や堤防の決壊
家屋倒壊
災害に便乗した犯罪、窃盗など
ため池堤防の決壊、飲料水の確保

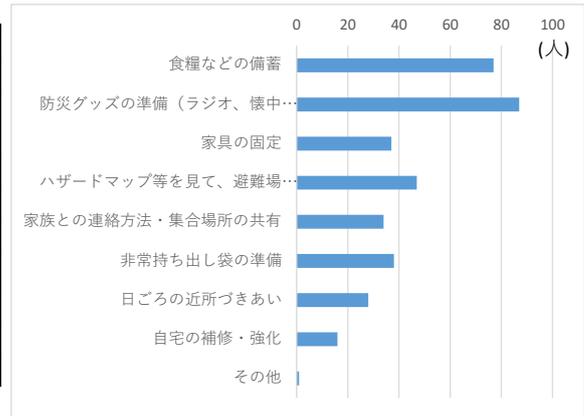
質問5 ご自宅が防災・減災対策に取り組んでいることはありますか?

回答	人数(人)	割合(%)
ある	126	65.3
ない	61	31.6
わからない	6	3.1



質問6 (質問5で「ある」を選択された方へ) 具体的な対策を教えてください。(複数回答可)

回答	人数(人)	割合(%)
食糧などの備蓄	77	21.1
防災グッズの準備(ラジオ、懐中電灯、ヘルメット、手ぶくろ、救急箱等)	87	23.8
家具の固定	37	10.1
ハザードマップ等を見て、避難場所・ルート確認	47	12.9
家族との連絡方法・集合場所の共有	34	9.3
非常持ち出し袋の準備	38	10.4
日ごろの近所づきあい	28	7.7
自宅の補修・強化	16	4.4
その他	1	0.3

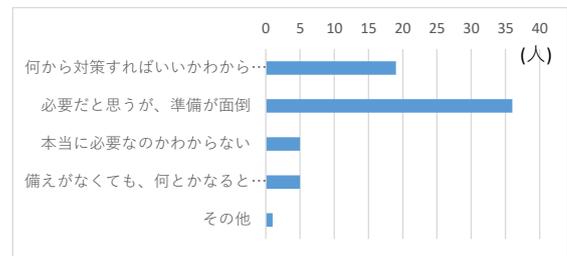


「その他」の場合、具体的にご記入ください。

ガス発電装置を設置し、停電時に非常用コンセントが使えるようにしています。1日から2日稼働予定。

質問7 (質問5で「ない」、「わからない」を選択された方へ) 家庭での対策について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

回答	人数(人)	割合(%)
何から対策すればいいかわからない	19	28.8
必要だと思うが、準備が面倒	36	54.5
本当に必要なかわからない	5	7.6
備えがなくても、何とかなんとかなると思う	5	7.6
その他	1	1.5

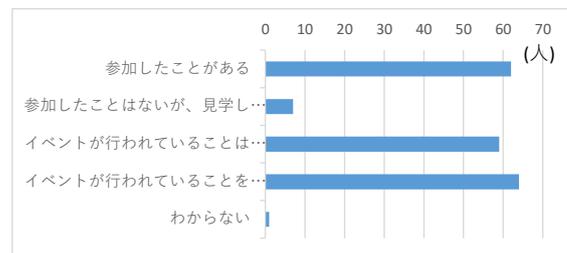


「その他」の場合、具体的にご記入ください。

物を置くスペースがない

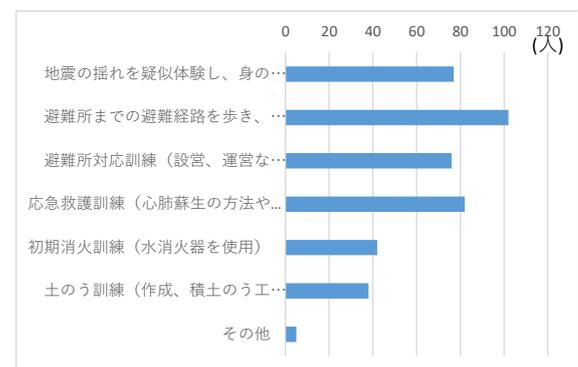
質問8 あなたは、ここ5年以内に防災関連のイベント(訓練や講座、催事など)に参加・見学したことがありますか? 1つ選んでください。

回答	人数(人)	割合(%)
参加したことがある	62	32.1
参加したことはないが、見学したことはある	7	3.6
イベントが行われていることは知っていたが、参加・見学したことはない	59	30.6
イベントが行われていることを知らなかった	64	33.2
わからない	1	0.5



質問9 「防災訓練」にどのような内容を取り上げてほしいですか?(複数回答可)

回答	人数(人)	割合(%)
地震の揺れを疑似体験し、身の安全を図る訓練(地震体験車)	77	18.2
避難所までの避難経路を歩き、危険箇所を確認する訓練(防災まち歩き)	102	24.2
避難所対応訓練(設営、運営など)	76	18.0
応急救護訓練(心肺蘇生の方法やAEDの使い方など)	82	19.4
初期消火訓練(水消火器を使用)	42	10.0
土のう訓練(作成、積土のう工法)	38	9.0
その他	5	1.2

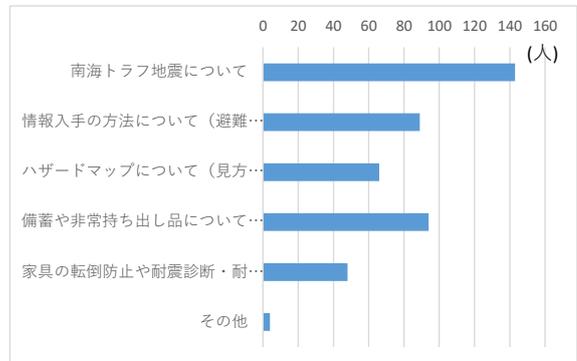


「その他」の場合、具体的にご記入ください。

非常持ち出し袋に何を入れるか、どのようなものが入っていると良いか、（ネットなどにリストもあるが、もっと具体的に）実際、被災した方のお話を聞いてみたい。
特にありません。
防災診断
犯罪から身を守る方法
簡易トイレの使い方、避難の時に必要な物のシミュレーション(例えば、避難先で水は貰えるけど、火は起こせた方がいいなど、優先的に準備する物を知りたい)

質問10 「防災講座」にどのような内容を取り上げてほしいですか？（複数回答可）

回答	人数(人)	割合(%)
南海トラフ地震について	143	32.2
情報入手の方法について（避難情報、気象情報、緊急地震速報など）	89	20.0
ハザードマップについて（見方や活用方法など）	66	14.9
備蓄や非常持ち出し品について（準備例や管理方法など）	94	21.2
家具の転倒防止や耐震診断・耐震補強等の対策について	48	10.8
その他	4	0.9



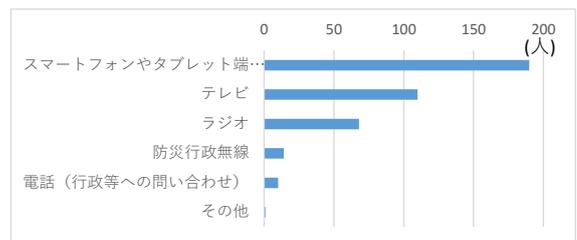
「その他」の場合、具体的にご記入ください。

集合住宅のブレーカーを落とす必要性。一軒家は気にかけているが集合住宅は単身者も多く忘れられがち。
指定地のハザード診断、土砂災害の危険があるか否かの診断
犯罪から身を守る方法

【防災情報の取得について】

質問11 あなたが災害時に防災情報を取得するために利用する媒体は何ですか？（複数回答可）

回答	人数(人)	割合(%)
スマートフォンやタブレット端末、パソコン	190	48.3
テレビ	110	28.0
ラジオ	68	17.3
防災行政無線	14	3.6
電話（行政等への問い合わせ）	10	2.5
その他	1	0.3



「その他」の場合、具体的にご記入ください。

我が家では防災行政無線は聞こえません。
---------------------

質問12 （質問11で「スマートフォンやタブレット端末、パソコン」を選択された方へ）防災情報を取得するために利用する機能について教えてください。（複数回答可）

回答	人数(人)	割合(%)
インターネット（国・県・市等のホームページ）	158	40.2
緊急速報メール（登録不要で自動配信されるもの）	153	38.9
登録型SNS、メール（防災アプリ含む）	62	15.8
その他	2	0.5

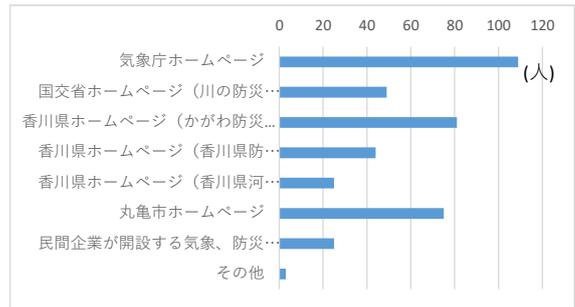


「その他」の場合、具体的にご記入ください。

スマートニュースなどのアプリ
----------------

質問13 (質問12で「インターネット(国・県・市等のホームページ)」を選択された方へ) 防災情報を取得するために閲覧するサイトは何ですか。(複数回答可)

回答	人数(人)	割合(%)
気象庁ホームページ	109	27.7
国土交通省ホームページ(川の防災情報)	49	12.5
香川県ホームページ(かがわ防災Webポータル)	81	20.6
香川県ホームページ(香川県防災ナビ)	44	11.2
香川県ホームページ(香川県河川監視カメラ)	25	6.4
丸亀市ホームページ	75	19.1
民間企業が開設する気象、防災関連サイト	25	6.4
その他	3	0.8



「その他」の場合、具体的にご記入ください。

国土交通省の防災関係情報Web
Twitter
NHKニュース防災アプリ

質問14 今後、防災施策を進めて行くうえで、国、県、市に期待することは何ですか? あなたの率直なご意見をご記入ください。

携帯電話の災害時の利用として、行政による防災無線放送の内容をそっくり携帯メールとして該当する地域の受信者向けに一斉送信のサービスが行われているが、携帯電話を持っていない方の為に、ラジオによる同様のサービスが享受出来れば効果的だと思います。(国土交通省と総務省との協議が必要と思われます)
自治会レベルでの防災組織の運営支援。
香川県内で実際に大きな地震が起こった事を想定し、家庭で行う災害時対応を広報紙や防災ブック等で教えてほしいです。
障がいや病気がある人が、どの避難所に逃げるのか、明確にわかる方が安心。近くに逃げればいいわけではなくて、より、手厚い支援が必要なので。
ネット環境がない人が取り残されないようにしてほしいです。
避難所での生活に苦痛が伴わないこと
自分事とすることが必要。自治会への防災士などの派遣による住んでいる地域ごとの防災講話、南海トラフ地震などの科学的な解説を聞ける市民講座。
実際に体験した事のある方の体験談を聞きたい。何が困ったのかなど
地域ごとの避難訓練とか、避難誘導体制などが取られているのか良く分かりません。自治会がその役割を担っているのかもしれませんが、今一つ明確化されていません。
食料と水など備蓄の確保、その後期限が来たらフードバンクやひとり親家庭に寄付してほしい。遠い他県への地震被害への援助では、物ではなく募金を県民に呼びかけてほしい。2011年地震の時は物を寄付されても物流や消費期限などで、多くの物資が現地に届かずに焼却処分されたと聞くので、これからは公的ルートでお金を電子決済などで気軽に寄付できる仕組みがあるとよい。
ライフライン、耐震化の推進
土器川が氾濫しないように
優先順位を明確にし、素早い判断・対応に期待する
避難したときの食料の確保を迅速に対応してほしい。
比較的雨の少ない地域であるがゆえに、豪雨の際等、水の流が良くなく、街中に近い住宅街が冠水しているケースが見受けられた。(2022年)用地が田畑から住宅に開発が進んだ地域等、用水路整備も適切に行ってほしい。
早急な通報、連絡を願いたい。
昨年9月の時間当り50mmを超える豪雨には驚きました。香川県防災ナビに他県の市も登録して気象情報を確認しています。比較的安全な土地であるとは思いますが、先日の講演で、普段災害が少ない所ほど、異常発生時の対応が遅れると聞きました。防災ナビの普及やハザードマップなどの理解を深めるため、専門家による出前講座等をして個々人の意識向上を図る必要があると思います。
フェーズフリーといわれる、普段から使用できるような、防災対策
住んでいる地域の避難所はどこで、そこにどんな物が常備されているのか。もし、災害が起こったときには、そこにどんな物が運ばれてくるのか。家にとどまっていた方がいいのか、無理してでも避難所に行く方がいいのか、その判断が困ったときにどうすればいいのか。以上のようなことを教えてほしいです。また、避難所は、大まかでも市町村がほぼ指定してくれていれば、具体的にイメージが湧くと思います。
大きな災害を経験したことない香川県民、かなりの死者を出さない為の対策は必要です。
広報などで特集してほしい。
公園等避難場所の整備

訓練にできるだけ多くの人に参加できるように、もっともっと呼びかけてほしい。
重要インフラ(橋、護岸、河川堤防等)の強化。できれば斜面の近く、河川の近く、海岸沿いは公園にしてほしい。
スピード感のある情報提供、緊急時の食料品の備蓄、飲料水の確保
防災訓練を繰り返す事が大事です。
近いうちに、南海トラフ地震が発生しますが、高齢者はそんなに危機意識がなく、地震対策をもう少しするように、周知が必要です。
子供、高齢者等弱者が犠牲にならないような対策。
以前(4~5年前)、天満町に住んでいた時に浸水を経験しました。水って音もなくくるので、その辺りの注意喚起が必要と感ずます。あと、車などを避難させておかないと、浸水すると動かなくなるので、車や自宅などの財産を風水害から守る(命が第一に大切です)などのQ&Aがあれば、実際に被害が起こる前に未然に防げる情報発信になるのではと感じます。
新たな施策も大事だが、現状の防災マニュアルが実際機能するかどうかの検証は必要と思う。
自治会単位ではなく誰もが避難できる場所があったらいい
市民の意識向上も課題ですが、災害に強いまちづくりを目指して欲しい。
情報発信
避難所を実際に開設し、夜を体験してみる事をしてほしい。リスクの低い夏で良いので、プライバシーの限界や段ボールベッドの使用などを感ずてもらいたい。
避難所がどこか知りません。山北八幡宮でも良いのかな?地区ごとに指定されているのかな。
正確な情報提供
地域ごとに、南海トラフ地震が起きた際に、最悪の事態を想定し、どこに逃げるか、逃げた先でどうするかをシミュレーションしたい。
県民、市民への啓発
津波ガードの設置
食料や病院などの迅速な対応
自治会加入、未加入に関わらず平等に情報がほしい。
一人暮らし、高齢者世帯への災害時の対応。劣化しているブロック塀の改善提案(助成金)。
SNSでの迅速、正確な情報の提供
都市計画を立てて災害に強い街づくり(海拔の低い所の土地の嵩上げ、水路、道幅確保)をしっかりと進めてほしい。
避難所の整備
大地震は必ず発生する事を市民に理解してもらえるように繰り返しアナウンスや訓練をしてもらいたい。
情報提供や体験談型訓練。
温暖な気候と中国四国山脈から災害に守られた地形で災害の意識が薄い。まあなんとかなるだろうとか災害は起こらないだろうという正常性バイアスが働きやすい環境にある。豪雨災害や南海トラフだけでなく中央構造線上の地震からの災害も脅かされているところであるので一人一人が意識していかなければならないし、首都直下地震等も起これば日本中がパニックとなり経済や生活が麻痺することも考えなければならないと思う。
垂水橋の架け替え(香川県への要望)
新しい家を建てる際の耐震に対する補助金
近隣住民との防災訓練、避難所の確認、高齢者の安全確保について出来ること、しなければいけないことの指導がほしい。
支援物資をタイムリーに配布し、無駄にしないようにしてほしい。
食料などの備蓄品を備えておいて欲しいです。
南海トラフ地震発生時のシミュレーションを希望する。
必要な情報にいかにかに単純な手順で辿り着けるようになるか。
県や市のHPを使った情報公開をリアルタイムで発信して欲しい
今流行りのマルシェなどを集めて防災サイトを作り毎年恒例の行事にしてみたいはいかがでしょうか。
各自治会役員へ防災訓練の参加依頼。
地震体験してみたい。
担当部署の人はもっと自ら勉強して欲しい。勉強しないのであればコンサルタント等の専門家に委託すべきです。住民の方が詳しいことが多いです。
災害時に迅速な対応をして貰えると助かります
正しく確実に素早い情報
もしもの災害に備えて避難場所の確保
素早い危ない箇所等情報発信
個人の意向が強い地区なので迷惑しています。市が率先して取り組んで下さい。
情報を緊密発信してほしい
避難先への誘導手順や備蓄確認をきちんとして欲しい。そして、避難先で治安維持できる体制を整えて欲しい。
安全な避難所の基準を設けて公開することが大切だと思います。
危険地区、地域の改善
家屋の保証、食料の確保
川西町では自主防災会が様々な施策や訓練を行っていますが、活動が活発なのは自治会役員(?)など一部の人々に限られており、私のような一般住民は蚊帳の外といった感じです。例えば行政が主導して住民参加型の大規模な防災訓練を実施するなど、より多くの人を巻き込んだ形で地域住民の防災意識の向上を図っていくことが必要ではないかと思っています。またそれぞれの地域ごとに、防災士など防災のリーダーとなるような人材を育成していくことも重要だと考えます。

香川県民全体が、防災に対して危機意識が非常に低いと感じる。まずは災害を明日は我が身、自分ごととして、県民に根付かせる取り組みを進めてほしい。
避難勧告が発令された場合に、避難所までの距離・時間を考え、移動が可能であれば避難するが、南海トラフ地震が発生した場合には、被災状況により移動不可の場合には、住民の安否確認や救助要請をどのように受託してくれるのか。まずは市の対応策を周知して欲しいです。
耐震対策の補助金対象を建築年だけで区別せず耐震検査の結果も考慮してはどうか（個人的過ぎるかな）
ライフラインの早期復旧、瓦礫等の早期撤去、道路交通の早期円滑化、生活支援物資の早期円滑配布
災害時に出来る限りオープンで正確な情報提供をお願いいたします。
災害時の医療提供、避難所等の現場管理が、円滑に行われるような練習
災害時の迅速な対応
地域に即した情報提供。設備があるのに使えない事の無いようにして頂きたい。香川の場合ため池に起因する水害を考慮する必要があると思う。水洗トイレが流せないならため池の水を使うことも考えてもいいのではないか。支援物資のスムーズな分配。
防災情報を一元的にまとめたサイトがほしい。過去の災害情報が知りたい
特に期待はしていない
細かな地域ごとに 短時間でいいので 防災対策の周知講座を開催してほしいです。町単位では 広すぎると思います。
緊急時のメールが来てほしいです。避難場所もわからないので情報が欲しいです。
災害発生時の避難所等の適切な運営。被災者への迅速な支援。
防災意識を高められるよう発信し続けてください
特になし
危険箇所の確認をして対応を早くしてほしいです。